

2015年4月24日

アマノグループ コーポレートガバナンス基本方針

アマノ株式会社

当社グループは、様々なステークホルダーの立場を踏まえた透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行うための仕組み（コーポレートガバナンス）を実効的なものとし、当社の持続的な成長・中長期的な企業価値の向上を図るための取組みを積極的に推進する。

1．株主の権利・平等性の確保

- (1) 当社は、株主の権利が実質的に確保されるよう適切な対応を行うとともに、株主がその権利を適切に行使することができる環境の整備を行う。
- (2) 当社は、株主の実質的な平等性確保の観点から、少数株主等の権利の実質的な確保、権利行使に係る環境や実質的な平等性確保について、十分に配慮を行う。

2．株主以外のステークホルダーとの適切な協働

- (1) 当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の創出は、株主以外の様々なステークホルダー（従業員、顧客、取引先、債権者、地域社会等）によるリソースの提供や貢献の結果であることを十分に認識し、これらのステークホルダーとの適切な協働に努める。
- (2) 当社取締役会・取締役は、これらのステークホルダーの権利・立場や健全な事業活動倫理を尊重する企業文化・風土の醸成に努める。

3．適切な情報開示と透明性の確保

- (1) 当社は、会社の財政状態・経営成績等の財務情報や、経営方針・経営計画・経営課題、リスクやガバナンスに係る情報等の非財務情報について、法令に基づく開示を適切に行うとともに、法令に基づく開示以外の情報提供にも主体的に取り組む。
- (2) 当社取締役会は、開示・提供される情報が株主との間で建設的な対話を行う上での基盤となることも踏まえ、そうした情報が、正確で利用者にとって分かりやすく、情報として有用性の高いものとなるよう努める。

4．取締役会等の責務

- (1) 当社取締役会は、株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえ、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を促し、収益力・資本効率等の改善を図るべく、以下

の役割・責務を適切に果たす。

経営計画・経営課題等の大きな方向性を示す。

代表取締役による適切なリスクテイクを支える環境整備を行う。

独立した客観的な立場から、取締役・執行役員に対する実効性の高い監督を行う。

(2) 前項の役割・責務については、監査役・監査役会がその一部を担う。

5. 株主との対話

(1) 当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、株主総会の場以外においても、株主との間で建設的な対話を行う。

(2) 代表取締役・取締役は、こうした対話を通じて株主の声に耳を傾け、その関心・懸念に正当な関心を払うとともに、自らの経営方針を株主に分かりやすい形で明確に説明しその理解を得る努力を行い、株主を含むステークホルダーの立場に関するバランスのとれた理解と、そうした理解を踏まえた適切な対応に努める。

6. 附則

(1) 本基本方針の制定・改廃については、取締役会が決定する。

以 上